

社会貢献活動

当行は、明治35年の創業以来、我が国の経済発展と社会基盤の強化に寄与するという創業精神の下、長期信用銀行として社会的責任を果たすとともに、内外において種々の社会貢献活動を行って参りました。当行は経営理念の一つとして『社会への貢献と社会的責任の自覚』を掲げており、今後とも「良き企業市民」として幅広い分野で積極的な活動を続けて参りたいと考えております。

国内における社会貢献活動

…………… (財)河上記念財団 ……………

当財団は、当行の元総裁、故河上弘一氏を追悼する記念事業として「青年層における学術の研究を推奨すること」を目的に昭和32年12月に設立されました。主な事業は、若手研究者を支援する工学研究助成、法学研究助成、法律・経済分野の懸賞論文募集及び外国人留学生に対する奨学金支給等で、設立以来、助成事業では約490件6億7,000万円の助成を行い、また懸賞論文は40回実施し、受賞者は約750名に及んでおります。

…………… (財)興英会 ……………

当財団は、当行創立50周年記念事業の一つとして昭和29年12月に設立された育英奨学財団です。公益法人として広く一般のニーズにお応えして育英事業の業容を拡大し、これまで多くの社会有為の人材(本年6月末現在、累計650名)を育成して参りました。尚、当財団は、昭和62年以降継続して文部大臣より「特定公益増進法人」であることの認定を受けております。

国内拠点による活動

神戸支店では、阪神・淡路大震災で親を亡くした震災遺児の支援施設である“心の城”レインボーハウスの建設・運営費の一部にと、募金活動を実施し震災復興に協力致しました。

また管財室では、本年4月、約2,100点の什器備品を町田市作業所グリア園に寄贈致しました。これは当行として、興銀ビジネス・チャレンジド株を通じて町田市役所に申し入れを行い、実現したものです。

尚、国内各支店では、地元に着目した文化活動の一助にと、店頭ロビーのスペースを利用して、絵画展、写真展等の各種ロビー展を随時開催しております。

海外における地域貢献活動

…………… IBJ財団 ……………

米国地域社会への貢献の一環として、平成元年12月に、在米邦銀による初めての財団として設立された当財団は、地域住宅サービス協会、ロスアンゼルス教師協会、米国地理学協会、米国国連協会等の米国における非営利法人に対する寄付活動を行っており、その基金総額は、当初の200万ドルから昨年末には1,200万ドルに達しております。こうした財団を通じた寄付活動のほか、当行の各拠点では、「良き企業市民」としてのボランティア活動にも積極的に取り組んでおります。

IBJ USAケアーズ・デイ・プログラム

昨年秋、当行は一昨年に続き、低所得者向けの住宅供給ボランティア団体であるHabitat for Humanityと共催で、全米拠点合同ボランティア活動「IBJ USAケアーズ・デイ・プログラム」を実施、100名を超える当行スタッフとその家族や友人が、6都市一斉に住宅建設現場で、釘打ち、土掘り、壁のペンキ塗りを致しました。このような活動は、1企業がHabitatと協力して1日で行う活動としては最も大規模なものであります。



海外拠点による活動

インドネシア拠点は現地貧困地域への救済活動の一環として、元駐在員や現地への出張者等行員からの寄付も活用し、コメの現物配給を継続的に実施しております。更に、昨年秋、中国長江流域と東北の一部地方において発生した洪水災害に対する義援金を中国5拠点を含めた本支店で取りまとめ、中華人民共和国駐日本国大使館を通じて寄付致しました。